

発行…埼玉県社会保険労務士会 大宮支部 広報部 発行日…平成29年7月1日
ホームページアドレス <http://www.sr-omiya.net>



支部長挨拶

支部長 鈴木 正剛

会員の皆様には平素より当支部運営について多大なご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、4月27日開催の通常総会におきまして、全議案可決できましたことを改めてご報告させていただきますと共に、慎重審議頂きましたことを心より御礼申し上げます。本総会において、私自身は引続き平成29年度・30年度も支部長の大役をお引き受けすることとなり、身の引き締まる思いであります。会員の皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

平成29年度は新しい試みとして、定例会終了後、実務に直結した基礎的な研修を行い、開業間もない会員でも実務への対応ができるようなサポート体制の構築をいたします。

一方で、今年度も大宮駅周辺を中心に定例研修会を開催し、会員の要望に応えた、より中身の濃い研修も行ってまいります。

なお、平成27年度から継続実施している「若者労働ほっとライン」の運営の他、今年度は、非正規雇用者休日電話相談の運営等、埼玉県からの受託事業の増加が見込まれ、会員の皆様に相談員をお願いする機会も増える年度と考えておりますので、相談対応のスキル向上のため支部主催の研修会には積極的にご参加頂きたいと存じます。

結びにあたり、今年度も会員の皆様をはじめ各行政機関及び関係諸団体等の皆様におかれましては、昨年度同様支部運営にご指導ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げ、支部長挨拶とさせていただきます。

平成29年度通常総会開催される

去る4月27日（木）さいたま新都心のラフレさいたまに於いて埼玉県社会保険労務士会大宮支部平成29年度通常総会が開催されました。山口総務部長の司会で総会が進行され、鈴木支部長の挨拶の後、成立確認が行われ、議長に渡辺佳哉会員、副議長に後藤正行会員が選出され、議長団挨拶の後、審議に入りました。まず平成28年度事業報告及び収支決算報告承認に関する件（監査報告）について審議が行われ原案通り承認されました。次に支部規程改定（案）承認に関する件が審議され、承認されました。その後役員改選に移り、原案通り理事・監事が選任され、理事の互選により鈴木正剛理事が支部長に再任されました。引き続き新理事により平成29年度事業計画（案）、収支予算計画（案）について審議に入り、原案通り承認され

ました。更に、大宮支部選出埼玉会理事候補、埼玉会代議員候補、埼玉県通常総会役員資格審査委員、並びに議事運営委員の選任について承認を得ました。以上をもって、上程されたすべての議案が原案通り承認され、審議は滞りなく終了致しました。

（総務部副部長 中嶋禎 記）



「新任のご挨拶」



大宮年金事務所

所 長 太村 恵太郎

埼玉県社会保険労務士会大宮支部の皆様、初めまして。大宮年金事務所の太村と申します。今年4月に石川県の七尾年金事務所から転任してまいりました。よろしくお願いいたします。

埼玉県社会保険労務士会大宮支部並びに会員の皆様には、日頃より年金事業の運営にあたり多大なるご理解とご協力をいただいておりますことを、紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて、日本年金機構では、「再生加速－現場力強化の年－を」平成29年の組織目標とし、国民のために努力をする組織、国民から信頼される組織をめざし、①日本年金機構、再生プロジェクトの

加速的推進②情報セキュリティルールの徹底③基幹業務の更なる推進と制度改正への確実な対応を重点課題として取り組んでいるところです。

基幹業務の推進では、厚生年金未適用事業所対策のほか、短時間労働者への適用拡大、受給資格期間の短縮等、さまざまな取り組み、制度改正が実施されているところですが、大宮年金事務所として、事業主の皆様方等への広報・周知活動を積極的に行ってまいりますので、大宮支部の皆様におかれましてもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、なりますが、埼玉県社会保険労務士会大宮支部の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心より祈念いたしまして、新任の挨拶とさせていただきます。



「法制定50周年のその先へ」



埼玉県社会保険労務士会

会 長 石倉 正仁

埼玉県社会保険労務士会大宮支部会員の皆様方におかれましては、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は、埼玉県社会保険労務士会に対しまして、絶大なるご支援ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、私事ではありますが、本年2月の埼玉県社会保険労務士会会長選挙におきまして、無投票で信任され、再選を果たすことが出来ました。これも偏に大宮支部会員の皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

6月より、三期目のスタートを切るわけですが、充実の二期目を経て、仕上げの三期目となり、その任期中には、法制定50周年の節目を迎えることとなります。先人達が作り上げてくれた良き伝統や実績を守りながらも、その伝統や実績を守るために改革し、時代と共に発展させることが、「働き方改革」の名のもとに活躍し得る社労士業界を牽引する者の使命と心掛けてまいります。今後ともご支援の程、宜しくお願い致します。

結びにあたりまして、会員の皆様方におかれましては、埼玉県社会保険労務士会に対しまして、引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げ、会長再任の挨拶と致します。

副支部長・各部長の抱負

副支部長 水出 祐子

2期目の鈴木正剛支部長体制のもと、副支部長に再任され、責任の重さを感じております。

今期も経理部と業務開発部を担当いたします。

経理部におきましては、埼玉会との会計基準の統一や支払調書等の作成・提出等、会計処理の著しい増加と複雑化に直面しており、専門家の助けが必要になっております。

業務開発部では、受託事業が年々増加し、支部会員への適正配分が大きな課題であります。

経理部長、業務開発部長ともに2期目ということで、今期は直面している課題にお互い知恵をだし合っ、対処していきたいと思っております。

支部会員の皆様にも、ご協力・ご支援を賜りたく、よろしくお願いいたします。

副支部長 原島 好朗

4月27日の通常総会において、副支部長を拝命いたしました。総務部、事業部を担当し、事務局長を兼任致します。総務事業、事業部事業については、両部長を中心に各部部員の先生方と連携し、会員の皆様からご意見・ご要望をより反映した、皆様により良い事業を提供できるよう努めてまいります。鈴木支部長のもと、会員ファーストを基本にし、社労士の地位向上に努める所存であります。至らぬ点もあるかと思いますが、2年間宜しくお願いします。



キャラクター
「しゃろたま」

副支部長 遠藤 成弥

今期2年間、副支部長を務めさせて頂く遠藤成弥です。長年理事としてご指導頂いた長谷川祐司先生の後任として、微力ではありますが「支部会員のため」の支部活動に努めてまいりますので宜しくお願い致します。

担当は厚生部と広報部となります。厚生部は前期に引き続き新堀厚生部長の下、多数の会員が参加し、親睦が図れる厚生事業を目指します。広報部は理事としての経験が長い磯広報部長の下、支部広報誌やホームページ等を通じて支部のスポークスパーソンを目指します。

任期中は鈴木支部長の活動に寄り添い、各部間の調整・補佐役として円滑な運営を、又会員からの意見・提案に耳を傾けていきたいと思ひます。



支部長・副支部長



監事



顧問



Saitama Sharoushi

総務部長 山口 恵美子

平成29年度通常総会により、総務部長を務めさせて頂くことになりました山口恵美子です。総務部は、中嶋禎先生（副部長）、石川千鶴先生、及川浩一郎先生、高柳祥絵先生の5名で担当いたします。

総務部は、支部事業が円滑に運営できるように、支部長を補佐しながら、各部間を調整する「扇の要」の役割を果たすと共に、会員の皆様に「やっぱり自分の本拠地は大宮支部！」と思って頂けるような活動に努めてまいります。そのために、支部事務局と一緒に、大宮駅周辺での会場の確保に努めると共に、受付では「笑顔」でのお出迎えを心掛けてまいりますので、定例会や各事業等には積極的にご出席ください。

2年間、会員の皆様におかれましては、総務部にご協力・ご支援のほど賜りますようよろしくお願い致します。



経理部長 鈴木 和美

前年度から引き続き経理部長を担当することになりました鈴木和美です。

1期目は慣れない部長職で皆様に迷惑をかけてばかりでしたが、2年が過ぎようとした頃にやっと大宮支部の流れが分かりかけて来ました。

会計業務は地味で目立たないため、役員とは言いながら周りからは埋もれているような気がして少々寂しい思いをしておりましたが、幸い前期・今期と優しいメンバーに支えられていることは本当にありがたいことと感謝しております。

今期から支部の会計を税理士さんに助けていただくこととなります。

大宮支部の会計が、税理士さんから「社労士さんもやるじゃないか」と言っていただけよう頑張りたいと思います。ご協力よろしくお願い致します。



事業部長 荒川 大輔

平成29・30年度も引き続き事業部長を仰せつかりました荒川大輔です。事業部の担当副支部長は原島好朗先生、部員は吉澤澄子先生（副部長）・和泉紀子先生・北村陽子先生です。今年度総会の事業計画通り、法改正を中心とした研修を基本に行ってまいります。また、新たな取り組みとして、業務開発部と連携し、開業間もない会員等を対象に実務基礎研修会を企画しております。法改正等の情報を提供し、会員の皆様により満足していただける定例研修会を開催するように努めてまいります。研修内容につきまして、ご意見・ご要望がございましたら、遠慮なく事業部員にお声がけ下さい。

これまでと同様に、行政機関等・関係諸団体との情報交換・行政協力等を行い、更に厚い信頼関係を構築してまいります。



厚生部長 新堀 幹人

厚生部長を仰せつかりました新堀幹人でございます。厚生部は、遠藤成弥先生（担当副支部長）、原口浩二先生（副部長）、齊藤竜造先生、望月厚子先生で活動をして参ります。

厚生部事業といたしまして、会員の皆様が、より一層、親睦を深めていただくことができますよう、親睦旅行、レクリエーション等を充実して参ります。埼玉会の厚生委員会事業に向けて、引き続き同好会を支援いたします。

厚生部事業は、会員の皆様の事業に対するご理解と積極的なご参加により成り立ちます。

厚生事業にご参加いただき、親睦を深めていただけます様、例年にも増して積極的にご声掛けをさせていただきます。ご理解と積極的なご参加をいただきます様、重ねてお願い申し上げます。



広報部長 磯 早苗

先の通常総会において、広報部長を拝命致しました磯早苗でございます。

当部会は、大原佐智子・島村勇・臼井直子各先生方と私の4人で今期2年広報事業を遂行して参ります。私共の役割は「シャロームおおみや」の発行、支部ホームページの管理運営、労働基準監督署等行政官庁に掲示されている支部会員名札の管理及び開業社労士名簿の設置、地域内の市民・区民まつりでの「無料年金・労働相談」の開催等であります。特に今期は、社労士法制定50周年の大きな節目を迎え、「シャロームおおみや」発行には、想定以上の力量が求められるものと今から部員一同身の引締まる想いです。

会員の皆様に当部員が積極的にお声掛け致しますのでご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



業務開発部長 高野 博道

平成29年度大宮支部事業計画書における業務開発部の計画を達成するために、3グループにおいて各種研修を実施し、増加する業務委託、行政協力及び講師派遣等を円滑に行うように致します。

先ず、労務管理グループでは、埼玉県の委託事業である「若者労働ホットライン」の電話相談を更に活発化するために特別研修を行って実効が上がるように致します。また、複雑化する業務に適切に対応できるよう、基本事項習得のための研修を行います。

次に、年金部会グループでは、10年年金の導入により社労士への認識度と期待度が高まっており、それに対応できる研修を行います。また、日本年金機構の委託事業である大宮年金事務所窓口相談員に対する専門的な特別研修により、さらにレベルアップし、社労士全体のイメージ向上に寄与致します。

最後に、講師派遣グループでは、行政、各種団体及び民間機関からの講師等派遣要請に積極的に対応するための研修を行います。

これらの活動により、業務開発部の今期事業計画の達成を図るよう致します。



埼玉県社会保険労務士会大宮支部役員名簿

顧問	監事	業務開発	広報部	厚生部	事業部	経理部	総務部	副支部長	支部長
		〇〇発	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇		
大石 久木 保富 士正 悟夫 仁	齋藤 藤 壽 實成 穂子	田木 渡部 修 光博 身潤 広道	島村 井原 佐 直智 早 勇子 子苗	望月 齊藤 原口 堀 厚竜 浩幹 子造 二人	北和 吉荒 村泉 澤川 陽紀 澄大 子子子 輔	町柳 鈴 田 木 典米 和 昭子 実	高及 石中 山 柳川 川嶋 口 浩 恵 祥一 千 美 成好 祐 正 剛	遠原 水 藤島 出 弥 朗子	鈴木 木

平成28年度労働局長感謝状表彰にあたり

山口 恵美子

この度は「埼玉労働局長感謝状」を頂き、光栄に感じております。これも石倉会長、鈴木支部長を始め先輩諸氏のご指導のお蔭と感謝申し上げます。特に、新人の頃、定例会にて笑顔で出迎えて下さった羽鳥先生
の存在は大きく、現総務部の在り方にも繋がっています。羽鳥先生には改めてお礼申し上げます。

開業してから十数年、真摯に業務に取り組むと共に、特に起業支援の中で、労働・社会保険に関する説明を行う他、社労士の業務や必要性等をお話してきました。この姿勢は、業務を行う中で先輩諸氏の努力によって社労士への信頼が構築されており、その信頼を損なうことのないように業務に取り組まなければならないと感

じたこと、一方で、まだ社労士の認知度が低く、微力でも、認知度のアップに繋がる活動をしたからです。

今後も、中小企業の発展、社会への貢献に寄与してまいりたいと思いますので、皆様にはご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



若者労働ほっとライン相談員として

大橋 由雄



面談でも電話でも相談員の経験は全然なかった私が、昨年よりほっとラインの相談員をさせてもらうことになりました。最初の電話を受ける前は、心身ともにどきどきの状態で、適切な対応ができるか非常に心配でしたが、話すことよりも聴くことに徹することが大切です

との先輩相談員の事前アドバイスにより、何とか30分間程度の対応をすることができました。その後、数

回の電話相談を経て、まさしく習うよりも慣れよのことわざ通り多少慣れてはきましたが、逆に今は怖さを感じています。それは、面談での相談と違って、電話相談は相手の表情や感情がつかめないために、適切な相談対応となっているかがはっきりしないためです。ただ、この点についても相談を解決しようとは思わず、相談者が自分で考える場合の手助けを行うことに徹することが大切だと考えています。特に若い方の職場のトラブル対応に少しでも役に立つことができるので、これからもぜひ続けていきたいと思います。同時に対応内容について後日確認することで、自分自身の学習にも大変役に立っています。

「東京下町散歩Ⅷ」に参加して

池田 良征



3月11日(土)、「東京下町散歩Ⅷ」が14名の参加者で行われました。午後1時45分、都営新宿線・大江戸線の森下駅に集合。散歩コースは深川七福神巡りと、その道中にある芭蕉記念館、深川江戸資料館の見学です。深川七福神は、深川神明宮の寿老人、深川稻荷神社の布袋尊、龍光院の毘沙門

天、円珠院の大黒天、心行寺の福祿寿、冬木弁天堂の弁財天、富岡八幡宮の恵比寿で、距離は約4.5kmとなっていますが、途中芭蕉記念館や深川江戸資料館の見学があったので、これに+αといったところでしょうか。万歩計を付けていた方たちによると、15000歩から20000歩の間とのことでした。散歩後は、深川めし本家「みや古」で懇親会を行いました。最後になりますが、ご多忙の中、企画を立てていただいた厚生部の皆様、旅行・ハイキング倶楽部の香川部長にお礼申し上げます。ありがとうございました。

相談員を利用してください

埼玉県会では、各支部に相談員を置き、社労士としての公共的使命と職責の重要性から、その本分に反する事の無いよう、会員の業務上の悩みや相談に応じ、指導助言に当たることとしています。大宮支部では、副支部長の3名が相談員を担当しています。

一人で悩まずに気軽に相談してください。

水出 祐子 メール mizuide-syaroushi@tkcnf.or.jp

電話 048-773-5807

原島 好朗 メール mb270134-8632@tbt.t-com.ne.jp

遠藤 成弥 メール end-78@jcom.home.ne.jp

(まずはメールでご相談ください。水出相談員の電話は平日9:00~18:00)

新入会員紹介

開 業

関根 悦子 平成28年11月1日
関根社会保険労務士事務所

鈴木 孝幸 平成28年11月1日
ミラデンス社会保険労務士事務所

細沼 均 平成28年12月1日
細沼社会保険労務士事務所

浅見 誠二 平成29年1月1日
社会保険労務士 浅見事務所

池田 裕代 平成29年1月1日
池田社会保険労務士事務所

藤井まさみ 平成29年1月15日
藤井社会保険労務士事務所

中野 清 平成29年2月1日
中野社会保険労務士事務所

中島 光子 平成29年2月7日
中島社会保険労務士事務所

武藤 勝敏 平成29年4月1日
むとう社会保険労務士事務所

横山久美子 平成29年4月1日
よこやま社会保険労務士事務所

勤 務 等

川島 誠 平成29年1月1日

諸町 典明 平成29年1月1日

佐々木 愛 平成29年1月1日

松本 妙子 平成29年1月15日

池田 良征 平成29年2月1日

塚田 一博 平成29年3月1日

大塚 純宏 平成29年3月1日

藪内 克己 平成29年4月1日

川本真由美 平成29年4月1日

法 人 社 員

中山 伸雄 平成28年9月12日
社会保険労務士法人Nice-One

内田 直樹 平成29年1月5日
社会保険労務士法人グランディス

山口 等 平成29年2月2日
社会保険労務士法人 第一経営

羽鳥 博樹 平成29年4月1日
社会保険労務士法人CWM総研

※開業、勤務等、法人社員間の異動も含みます。

行 事 予 定

8 月

27日 支部ファミリーボウリング大会
第49回社会保険労務士試験

9 月

13日 定例会

10月

支部親睦旅行
支部ゴルフ大会
県会主催支部対抗ソフトボール大会
18日 定例会

11月

県会主催支部対抗ゴルフ大会
15日 定例会

12月

3士業ゴルフ大会
13日 定例会

※開催時期等は諸事情により変更する場合があります。

* 新着情報満載 *

大宮支部HPをご利用下さい。

ホームページ <http://www.sr-omiya.net>

本号に関する感想、意見等は支部宛にメールでお寄せください。
次号の参考にいたします。

大宮支部 E-mail: info@sr-omiya.net

同好会紹介

ボウリング同好会

メンタルが重視されるスポーツのひとつとも言われていますが、その一方で比較的手軽にできるスポーツでもあります。

ボウリング同好会では、仲間との親睦を深めることと、日頃のストレスを少しでも発散する事を目的としております。随時、仲間を募集しております。



ソフトボール同好会

運動不足の解消、ストレス発散ができ、親睦が深められる同好会です。

県会の支部対抗戦に向けての練習、決起大会等の飲み会の他に、他支部との練習試合も行い、交流を深めております。

初心者の方、熱い応援をして戴ける方、「腕におぼえあり」と、かつての野球少年・少女、今も現役の方まで、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



ゴルフ同好会

ゴルフ同好会は多いときで年6回のコンペに参加します。春と秋の支部コンペ、県会の支部対抗コンペ、弁護士・税理士・社労士の3士業の友好コンペです。各自、時間を見つけてレベルアップを図っています。

お客様とのコミュニケーションツールとしてのゴルフは有効です。

仕事と健康のために多くの方の参加をお待ちしています。



旅行ハイキング倶楽部

当同好会では、東京下町散歩・花見・旅行等を実施致しております。行事では大先輩、先輩、後輩等の色々な方と仲間になります。是非お気軽にご参加下さい。



同好会への加入申込み及び問い合わせは「大宮支部事務所」へ

編集後記

平成29年度・30年度の大宮支部新体制がスタートしました。

この2年間には、社会保険労務士制度50周年という節目を迎えることになります。広報部としまして、この大きな節目にどう貢献できるか検討していくこととしております。

元より、広報部の業務は会員の皆様のご協力がなければ進みません。大宮支部の初期の頃の写真等は貴重な資料になりますので、その様な資料がないか、今から心掛けていただければありがたいです。(I.S)

ひと宮

年金相談で「年金はご夫婦がお元気で長く年金をもらい続けることが一番お得です。」と言います。しかし、命の期限がいつ来るのかは分かりません。

最近、『終活』などと、終末医療をどうするか、お葬式はどのようにするか等々、命の期限に備えておくことも必要なようです。

特別養護老人ホーム芦花ホームの石飛幸三医師が書いた『平穏死を受け入れるレッスン』(誠文堂新光社)という本を読みました。安らかな大往生を妨げているのは家族の「情」だと書いています。延命治療によって生かされているだけ、子どもは親にできるだけのことをして別れる時を先に延ばしたい、それは親本人にとって幸せな事かと問うています。子どもの親と別れたくないというエゴで、親の人生最後の時間をいかに快適に過ごしてもらうかを考えることが置き去りにされているのではないかと。そして、最後の章では、「幸せな死を思い描いて、今日一日を楽しんで生きる」こと、「下り坂をどう降りるか」を書いていきます。

誰でもが望んでいる穏やかな最後の時を、いかに迎えるかを考えさせられました。(N.U)